

バスケットボール戦評記入用紙

大会 (新人・春季・インターハイ・夏季)
 試合 (決勝・準決勝・決勝リーグ・5-7位決定戦・代表決定戦・その他)
 日時 1月18日 日曜日 第2試合 時刻11:30
 記入者名 祐木 毅

A チーム	得点		得点	B チーム	
正智深谷	81	()	57 昌平高校	
				14-19	
				23-4	
				20-18	
				34-25	

戦評

第1P、出だしは両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。リードしたのは昌平。堅いディフェンスからリバウンドを確実に取り攻撃し、#7、#10のジャンプシュートで得点する。一方正智深谷はシュートを放つがなかなか決まらず苦しむ。#8がドライブインシュート、#12がゴール下のシュートをねじ込み何とか食らいつく。しかし昌平#8、#9の3Pシュートで5点リードして第1P終了。

第2P、第1P好調だった昌平のオフェンスが止まる。6分間ノーゴールで苦しむ。一方正智深谷は#6の速攻からのレイアップシュートでリズムをつくり、#8、#9のジャンプシュートで逆転しリードする。昌平は3-2ゾーンにして流れを取り戻そうとするが正智深谷#12にオフェンスリバウンドをとられ、ゴールをねじ込まれてしまう。正智深谷のペースで試合は進み、14点リードで前半を終了する。

第3P、正智深谷はマンツーマンディフェンス、昌平は3-2ゾーンディフェンスでスタートする。昌平はディフェンスリバウンドをしっかりとって攻撃につなげ、リズムを取り戻し互角の戦いになる。昌平#5が連続3Pシュートが決まり、流れが昌平に傾きかける。しかし正智深谷も#6、#8が3Pシュートを決め試合の主導権を渡さない。

第4P、何とか点差を詰めたい昌平であったが肝心なところでのミスが目立ち得点できない。正智深谷は#5の3ポイントシュート、ドライブインシュートなど確実に得点する。昌平も最後まで粘りを見せるが正智深谷の勢いを止めるには至らない。結局81対57で正智深谷が勝利し、決勝リーグ2勝目をあげた。